

第9回 機能性ディスペプシア とは？



院長 川口 義明

かわぐち消化器内科

みぞおちの痛みや胃もたれが慢性的にあるにもかかわらず、胃力メラでは異常なしと言われた方はいないでしょうか。胃力メラは器質的な異常（胃潰瘍や胃がん）を発見するための検査です。器質的な異常がないにもかかわらず、上記のような上部症状が慢性的に

起こる疾患を機能性ディスペプシアまたは機能性胃腸症と呼んでいます。以前のテーマである過敏性腸症候群は、便通異常（下部消化管運動の機能異常）を起こす疾患であるのに対して、機能性ディスペプシアは上部消化管運動の機能異常を起こす疾患です。これらはストレスが原因で起こることも多く、現代病の一つと言えるかもしれません。機能性ディスペプシアは、過敏性腸症候群や逆流性食道炎と併発して発症する場合も少なくありません。まずは内視鏡検査で器質的な異常を除外して、症状に合わせた確な治療を行うことが重要です。



かわぐち 消化器内科

TEL **045-830-5311**

港南区港南台5-23-30
港南台医療モール3F



〔診療時間〕
午前9:00-12:00
午後16:00-18:00
〔休診〕
木曜・日曜・祝日
(土曜午後)

